

<h2 style="text-align: center;">鏡山</h2> <p style="text-align: center;">～伝説の山からの絶景～</p>	分野 自然
	地域 唐津・浜玉
<p>標高284メートルの鏡山は唐津城、虹ノ松原と並んで唐津市のシンボルの一つである。</p> <p>花崗岩の上に玄武岩質の溶岩をのせたメサ（卓状）地形をなす山の頂上は平坦な地形のため遠景は台形の山で、どの方角から見ても同じ形に見える事も知られている。</p> <p>頂上への5キロの登山道を進むにつれて、だんだんと眼下に素晴らしい景色がひろがる。沿道は桜並木が続きシーズンには桜のトンネルとなる。ふもとからはそれが薄いピンク色の帯状に見え、鏡山の春景色となる。山頂へはこのほか3つの遊歩道があり、近年、有志により登山用の階段も整備された。</p> <p>山頂は広々とした公園になっており、周囲400メートルの池や、鏡山白玉神社、展望台などがあり、5月にはツツジの花見客でにぎわいを見せる。最近ではハングライダーも楽しめるようになった。</p> <p>展望台からは唐津の大パノラマが一望できる。ここから見る絶景は山と海岸線が接近していて平地がせまいという地形が作り出す豊かな自然の美しさだといえる。</p> <p>南から西にかけては田園風景と松浦川の流れ、そして唐津城を中心に広がる市街地、奥には上場台地の稜線が望める。唐津城を中心に東西に延びる海岸線は、ちょうど羽を広げた鶴のように見え、唐津城がなぜ舞鶴城と呼ばれるのかわかる。</p> <p>北にはふもとの国道202号線沿いの市街地、弓形に延びる緑深い虹の松原、そして唐津湾の白い砂浜と紺碧の海が絶景を作り出している。唐津湾に浮かぶのは鳥島、高島、神集島(かしわじま)、さらに福岡県の姫島、烏帽子島、小呂島(おろのしま)、天気がよければ長崎県の壱岐なども望める。その先は対馬、さらに韓国へとつながっている。</p> <p>東に目を向けると眼下に浜玉町の田園地帯、神功皇后ゆかりの玉島川が松浦灣に流れ込み、福岡県の十坊山(トンボヤマ)、浮岳が望める。</p>	◎地図・写真・統計資料など
<p>◎エピソード・伝承・うんちく など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>鏡山は実は休火山で、頂上の池は噴火口の跡であると言われている。</li> <li>鏡山の名前は神功皇后が山頂に鏡を祀った事に由来するといわれている。</li> <li>鏡山は「領巾振山(ひれふりやま)」とも呼ばれ、「肥前風土記」、「万葉集」にも登場する「松浦佐用姫」の悲恋の伝説でも有名である。 山頂には松浦佐用姫の像および、山上憶良が詠んだ「遠つ人松浦佐用姫夫恋に領巾振りしより負へる山の名」の歌碑が建てられている。</li> </ol> <p>どの方角から見ても同じ形に見える事から七面山とも呼ばれている。</p>	<div data-bbox="1166 253 1497 450" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1166 465 1497 663" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: right;">(唐津新聞社より)</p> <hr/> <p>◎引用・参考文献(出典)</p> <p>◆『東松浦史』</p> <hr/> <p>◎もっと詳しく知りたい方は</p> <p>唐津市近代図書館へ お問い合わせください。</p> <p>■電話：0955-72-3467</p> <p>■ホームページ： <a href="http://tosyokan.karatsucity.jp/hp/cnts_lib/index.html">http://tosyokan.karatsucity.jp/hp/cnts_lib/index.html</a></p>